26—30 OCTOBER 2026

WEEK 44

NAGANI

# WEEKLY REVIEW

## 承認から実行へ。 資金・天候・期限を見極める。



### ミャンマー週刊レビュー

31 OCT 2026 · 日本語版

01 / WEEK 44
**投資承認を、受注・採用と分ける**
→

02 / WEEK 44
**天候と食品原価を、同じ条件で追う**
→

03 / WEEK 44
**入札は数量・立替資金・期限で判断**
→

26 OCT 00:00 — 30 OCT 23:59 MMT

日本語 / English / မြန်မာ

概念画像／実際の現場写真ではありません。

01 WEEKLY REVIEW
26-30 OCT 2026 · WEEK 44

# 目次

今週の結論と判断の条件 3
一週間の変化と前週との差 4
為替：確認できた観測区間で比較 5
送金：受取方法と時点を揃える 6
商品：原価は品目別に更新する 7
株式と国債：騰落と利回りを分ける 8
MIC、16件を承認：実行段階を追う 9
CONPC上場承認にはIPO完了の条件 10
深掘り：何が揃えば実行へ進めるか 11
気象：前の警報と次の低気圧を分ける 12
新たな低気圧：ARNABとは別案件 13
ポーサン米：作付けと調達を分ける 14
深掘り：原価と立替期間の感応度 15
ASEAN特使の訪問が実施段階へ 16
観光広告入札：次の期限と資格 17
広告入札：数量と立替資金 18
翌週の期限と、経過済み案件 19
カテゴリー索引と編集注記 20

02 WEEKLY REVIEW

26-30 OCT 2026 · WEEK 44

# 今週の結論と判断の条件



AI生成の概念画像。実際の会議・現場写真ではありません。

01

## 投資承認を、受注・採用と分ける

MICの16件承認とCONPCの条件付き上場承認が進展。実投資・IPO完了・売買開始の確認を次の節目とする。

→

02

## 天候と食品原価を、同じ条件で追う

ARNABの終息情報と30日の新低気圧を別案件で管理。CSOの米・油・燃料は動きが異なり、一律の原価上昇とは扱わない。

→

03

## 入札は数量・立替資金・期限で判断

観光広告入札は11月19日正午提出。数量6件／9件の不一致と立替条件を解消して見積もる。JFの10月30日期限は経過済み。

→

03 WEEKLY REVIEW
26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# 一週間の変化と前週との差

対象は10月26日00:00〜30日23:59 MMT。日次5号の延べ32掲載を、継続案件をまとめて21案件に整理した。相場、翻訳、索引は数えない。週前の出来事・背景資料も日次探索に含まれるため、21件すべてが今週発生したという意味ではない。

| 2026 | 変更点 |
|---|---|
| 26–27 OCT | ARNAB監視／外交訪問予定 |
| 28 OCT | ARNAB最終情報／MIC会合／CONPC条件付き承認／ASEAN特使到着報道 |
| 29 OCT | MIC・ポーサン米報道／観光広告書類販売開始日 |
| 30 OCT | 別の低気圧予報／CONPC追加発表／JF締切経過 |

前週は食品供給・企業手続・人材の進展を検討した。今週は米・油の同系列価格を更新し、MIC承認とCONPCの条件を追加。前週からのJF公募は締切経過へ進んだ。PwCの30日予定の集会について、開催・決議を独自確認していない。

04 WEEKLY REVIEW
26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# 為替：確認できた観測区間で比較

| 2026 | USD Buy | USD Sell | JPY Buy | JPY Sell |
|---|---|---|---|---|
| 27 OCT | 4,580 | 4,680 | 28.96 | 29.68 |
| 28 OCT | 4,600 | 4,700 | 29.09 | 29.80 |
| 30 OCT | 4,650 | 4,750 | 29.45 | 30.23 |

現地市場参考レート（Market Rate Plus）。単位はMMK/外貨1単位、Buy／Sellを分離。27→30日の観測区間でUSD Sellは4,680→4,750（+1.50%）、JPY Sellは29.68→30.23（+1.85%）。週初・週末の取引終値ではない。30日付表示を31日に取得。店頭確約価格ではなく、金額・受渡方法・手数料を別途確認する。

> 仮定計算：USD10,000をSellで購入する場合、27日46,800,000 MMK、30日47,500,000 MMKで差は700,000 MMK。手数料・税・実行可否を除く感応度例で、実際の見積もりではない。

MRP ↗

05 WEEKLY REVIEW

26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# 送金：受取方法と時点を揃える

| OCT 2026 | 現金 | 銀行 | ウォレット |
|---|---|---|---|
| 26 | 25.28 | 25.32 | 25.36 |
| 27 | 25.18 | 25.201 | 25.2807 |
| 28 | 25.08 | 25.137 | 25.2312 |
| 29 | 25.05 | 25.1002 | 25.1805 |
| 30 | 25.11 | 25.144 | 25.25 |

Kyodai公式の平日保存値、MMK/1 JPY。表示更新時刻の時間帯は未明記、適用金額も未表示。26→30日の銀行受取は25.32→25.144（−0.70%）。取得時点が異なる観測差で、手数料控除後の受取額ではない。31日のライブ表示は週外のため比較に含めない。

KY ↗

### CBM・30 OCT 2026

CBM 30日：USD参考2,100／市場取引3,660 MMK。JPYは原表100円あたり1,334.77／2,326.32 MMK（1円なら13.3477／23.2632）。23日1,338.90／2,333.51からの観測差はそれぞれ−0.31%。MRPや送金受取率と取引条件が違うため、差額を裁定利益とみなさない。

CBM ↗

06 WEEKLY REVIEW
26-30 OCT 2026 · WEEK 44

# 商品：原価は品目別に更新する

| 系列 | 単位 | 23 OCT | 30 OCT | 差 |
|---|---|---|---|---|
| 金24K | MMK/tical | 7,100,000 | 7,100,000 | 0.00% |
| 米 Emata Medium / Sinthwe Old | MMK/pyi | 4,800 | 5,000 | +4.17% |
| 米 ShweBo Pawsan Medium / Old | MMK/pyi | 8,500 | 8,500 | 0.00% |
| ごま油 Hnan Oo Yee Thant | MMK/viss | 26,600 | 29,600 | +11.28% |
| パーム油（容器除外） | MMK/viss | 7,900 | 7,850 | −0.63% |
| ヤンゴン92 | MMK/gallon | 21,218 | 20,430 | −3.71% |
| ヤンゴン非プレミアム軽油 | MMK/gallon | 20,003 | 20,318 | +1.57% |

CSOのヤンゴン系列、23→30日。品種・等級・元単位を維持。金はShwe Bon Thar Streetの24K、燃料は92と非プレミアム軽油、油は記載銘柄・区分。袋・リットル・kgへ換算していない。30日値は31日に取得した。全国の実売価格や個別店舗の約定価格を表すものではない。

分析：米とごま油は上昇した一方、パーム油と92ガソリンは低下。食堂・食品加工は原材料別に原価を更新し、燃料低下だけで全体コストが下がるとは見込まない。天候予報は供給リスクの確認材料だが、この価格変化の原因を証明しない。

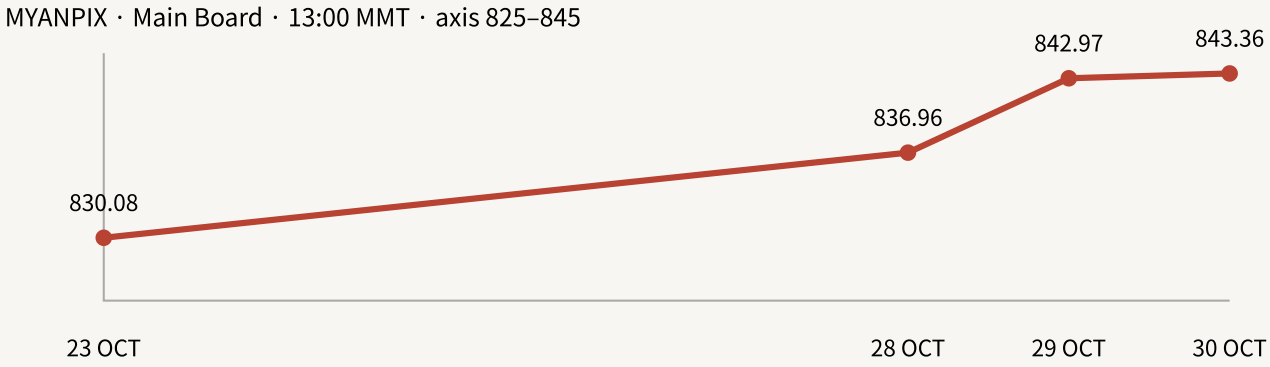
CSO ↗

07 WEEKLY REVIEW
26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# 株式と国債：騰落と利回りを分ける

30 OCT · MAIN BOARD
**843.36**

23 → 30 OCT
**+1.60%**




Main BoardのMYANPIX、各日13:00 MMT。23日830.08→30日843.36、+13.28（+1.60%）。30日のMain Board出来高23,777株、売買代金163,790,000 MMK。PLBは別市場で9,263株・54,252,900 MMK、両市場合計と混ぜない。図は確認できた日付の観測点だけを示す。

YSX ↗

## 国債：過去の入札資料

国債はCB Securities掲載のGB0120、9月15日入札・2031年8月15日償還の過去資料。表面利率9.75%、落札利回り9.50〜9.85%。今週の価格・利回り変化は確認できない。国債の利回りと株価指数の騰落率は直接比較しない。

BOND ↗

08 WEEKLY REVIEW
26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# MIC、16件を承認：実行段階を追う

29日の政府系MDN／MNA報道によると、MICは28日の第6/2026回会合で新規16件を承認した。投資額はUS$20.829 millionと564,391.39 million MMK、雇用は2,130人を見込む。通貨を合算せず、雇用を創出済みとは扱わない。

### 承認の内訳

外国投資の工業2件、国内投資の工業8件、電力・農業・住宅建設・畜水産・鉱業の国内投資6件。例としてEVのSKD組立、建材、太陽光、肥料などが挙げられた。SKDは部品を一定程度組み上げた状態で輸入し、現地で完成させる方式。

### 受注・採用へつなぐ条件（分析）

承認は資金流入、着工、稼働と別段階。供給先を探す企業は事業者名、所在地、調達時期、支払条件を確認し、採用側は職種と開始時期を確認する。個別許可原簿・実施工程は今回未取得で、現場確認も行っていない。

## 承認16件の構成




外国工業 2 / 国内工業 8 / 国内その他 6

MDN / MNA · 29 Oct 2026 · meeting 28 Oct ↗

09 WEEKLY REVIEW

26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# CONPC上場承認にはIPO完了の条件

YSXは28日、Concordia Public Co., Ltd.（CONPC）のMain Board上場申請を、IPO完了を条件として承認した。上場日は後日公表するとしている。承認の通知と実際の取引開始は異なる段階だ。

**01**
28 OCT・条件付き承認

**02**
IPO完了の確認

**03**
上場日を別途公表

## 何を確認すべきか

IPOは一般投資家への新規株式公開。投資家、証券会社、資金管理担当は、募集書類・価格・申込資格・日程・割当と返金条件を確認する。本公示だけでは募集価格や注文可能日は確定できない。

## 判断が変わる条件（分析）

次の節目はIPO完了の確認と上場日公表。承認だけで資金調達成功、十分な流動性、利益を保証するものではない。市場全体の指数上昇をCONPCの実績へ結び付けず、既存銘柄と別に追跡する。

YSX・28 Oct 2026・conditional approval ↗

## 30日付の続報

YSXは30日、CONPCによる上場承認関連のプレスリリースを案内した。リンク先PDFは正常に読めず、追加条件は未確認。28日の条件付き承認を、IPO完了や取引開始へ更新する根拠にはしていない。

CONPC30 ↗

# 深掘り：何が揃えば実行へ進めるか

投資承認、資本市場の承認、外交訪問が同じ週に進んでも、各案件の実行条件は別である。日本企業・現地事業者は、発表件数を需要予測に直結させず、相手先と対象取引ごとの証拠を集める。

| 対象 | 判断を変える確認事項 |
|---|---|
| MIC案件 | 許可原簿、事業者、資金実行、工程 |
| CONPC | 募集書類、IPO完了、上場日 |
| 援助・物流 | 到着地、受取人、許可、保険 |

### 業種をまたぐ影響（分析）

製造・建材・太陽光の供給候補は工程と検収条件、人材会社は職種と採用開始日を確認する。承認件数や見込み雇用数だけを受注確定・求人実数へ変換しない。工場稼働前でも準備費用は発生し得るため、契約前支出の上限を設ける。

MIC ↗ · CONPC ↗ · AP ↗

11 WEEKLY REVIEW
26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# 気象：前の警報と次の低気圧を分ける

週前半のARNABは28日に最終情報へ進んだ。一方、30日の南アンダマン海の低気圧は別案件。前の警報終了を、新しい予報や地域別の安全確認の代わりにしない。以下は対象週末までに公表された30日の予報で、31日以降の実績報告ではない。

| 2026 | 確認された段階 |
|---|---|
| 26–27 OCT | ARNABの予報・監視 |
| 28 OCT · 14:00 | 最終情報：内陸で弱まる |
| 30 OCT · 07:00 | 南アンダマン海の別の低気圧 |

### 実務の判断（分析）

荷主・沿岸倉庫・漁業は、出発地と到着地で別々に操業状況を確認する。海況予報は運休公示ではなく、警報終了も道路・電力・通信の復旧確認ではない。納期変更は輸送会社の通知と契約条件を照合して決める。

ARNAB ↗ · STORM ↗

12 WEEKLY REVIEW
26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# 新たな低気圧：ARNABとは別案件

DMHは30日05:30 MSTの観測に基づき、南アンダマン海に低気圧が続いていると発表。前号で扱ったARNABの最終情報とは別の気象案件として追跡する。

### 予報が示す時間軸

西北西へ進み、次の12時間に南アンダマン海・ニコバル付近で明瞭化し、31日にベンガル湾南東部と隣接海域で低気圧として発達する見通し。11月2日にインドのアーンドラプラデシュ沿岸付近へ達する可能性が示された。いずれも予報であり、上陸完了の報告ではない。

### 輸送・現場の確認（分析）

海上輸送・漁業・沿岸倉庫は、次のDMH更新と運航会社の通知を照合する。航路、出発日、荷受け、保管と濡損責任を別々に確認し、予報だけで運休や安全を断定しない。ミャンマーの被害や港湾停止を独自確認したものではない。

## ミャンマー向けの警戒情報

30日朝から11月3日にかけ、ヤンゴン・エーヤワディ・タニンダーリ管区とモン州では局地的大雨の可能性。モッタマ湾とモン〜タニンダーリ沿岸・沖合は波9〜11フィート、デルタを含む対象海域では突風時に最大35mphの風が予想される。DMHは急な増水・洪水・土砂災害と航空・漁船・船舶への注意を呼びかけた。

DMH · issued 30 Oct 2026 07:00 MST · observation 05:30 ↗

13 WEEKLY REVIEW
26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# ポーサン米：作付けと調達を分ける

29日のMDN／MNAは農業当局の情報として、雨期ポーサン米の作付けでエーヤワディ管区が130万エーカー超と全国最多と報道した。作付け面積は収穫済み量や輸出可能量とは異なる。

| 地域 | 報道された面積（エーカー） |
|---|---|
| エーヤワディ | > 1,300,000 |
| ザガイン | 347,226 |
| ヤンゴン | 27,144 |
| バゴー | 20,669 |

### 品種を混ぜない管理

エーヤワディでは8地区20タウンシップで6品種を栽培するとされる。当局は品種混入の防止と種子品質を重視。地域別面積を品質保証や出荷予定へ直結させない。

### 買付け時の確認（分析）

買手は品種、等級、収穫年、水分、精米・保管条件、供給元の追跡性を契約単位で確認する。単位をそろえずにエーカーからトンへ換算しない。元統計表と現地収量は今回独自確認していない。

MDN / MNA · 29 Oct 2026 ↗

# 深掘り：原価と立替期間の感応度

以下は編集部の仮定例。実際の入札予算・企業収益ではない。米100 pyiとごま油10 vissを同条件で購入するなら、23日746,000 MMK→30日796,000 MMK、差50,000 MMK（+6.70%）。数量・品質・購入先・輸送費が変われば結果も変わる。

| 2026 | Rice · 100 pyi | Sesame oil · 10 viss | MMK |
|---|---|---|---|
| 23 OCT | 480,000 | 266,000 | 746,000 |
| 30 OCT | 500,000 | 296,000 | 796,000 |

広告業務の仮定：月次の立替支出が10,000,000 MMKで入金待ちが1／2／3か月なら、必要な立替元本は10／20／30 million MMK。金利、税、保証金、為替変化、検収遅延は別枠。数量不一致が解消しても、支払条件が不明なら確定利益は計算できない。

CSO ↗ · TENDER ↗

15 WEEKLY REVIEW
26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# ASEAN特使の訪問が実施段階へ

> APは28日、ASEAN特使を務めるフィリピン外相Maria Theresa Lazaroのミャンマー到着を報道した。前号の訪問予定から、到着が伝えられた段階へ更新する。

AP · 28 Oct 2026 ↗

Daily Tribuneが引用するフィリピン外務省発表では、AHA Centreと協力し、11月までカイン州とシャン州南部・北部の11,000超世帯への支援を計画する。これは予定対象で、全世帯への配布完了数ではない。外務省原文は今回直接取得できなかった。

Daily Tribune · 28 Oct 2026 · DFA statement reported ↗

### 日本の立場を一次資料で確認

日本政府の27日国連声明は、暴力停止、拘束者解放、包摂的対話とASEANの5項目合意実施を求めた。人道支援と政治的課題を並行して見る必要がある。声明自体を新しい商取引許可とは扱わない。

### 事業判断への含意（分析）

支援物資の実到達、地域別アクセス、今後の会談結果を追う。人道ルートを商業輸送の開通や制裁解除へ読み替えない。荷主・物流業者は貨物種別、通行許可、保険、荷受けを別途確認する。現地取材は未実施。

Permanent Mission of Japan to the UN · 27 Oct 2026 ↗

16 WEEKLY REVIEW

26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# 観光広告入札：次の期限と資格

継続案件。観光当局のOnline Paid Marketing／Boostingは29日が書類販売開始日。販売終了日は原資料に明記なし、窓口の販売状況も未確認。8ページの原資料は2027–28年度予算予定と記載。原公示日・入札番号は未確認。

SUBMISSION · 2026

**19 NOV**

12:00 · Nay Pyi Taw

DOCUMENT SALES START

**29 OCT**

2026 · MMK 10,000

| 項目 / Milestone | 原資料の条件 |
|---|---|
| 仕事内容 / Scope | Online paid marketing / boosting |
| 書類販売 / Sales | 29 OCT 2026 → 終了日未記載 |
| 提出期限 / Submission | 19 NOV 2026 · 12:00 |
| 開札 / Opening | 20 NOV 2026 · 14:00 |
| 窓口 / Office | Office 33 · Nay Pyi Taw |

時刻はネピドー現地時刻（MMT）として整理。原資料に時間帯の明記はなく、提出前に窓口確認が必要。Myanmar登録、事業経験2年以上、観光分野のDigital Marketing経験が条件。Google／Facebookが受け付ける外貨建ての自社銀行口座も必要。

Ministry · original pp.1, 4–5 · checked 28 Oct 2026 ↗

17 WEEKLY REVIEW

26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# 広告入札：数量と立替資金

> 原資料5ページの第16項は月6件の写真デザイン・コンテンツ、8ページは9件と記載。どちらかを正しいと決めつけず、書面で統一条件を確認することが見積もりの出発点になる。

| 確認できた業務 | 数量・条件 |
|---|---|
| 月次投稿・動画 | 9投稿、動画1本、Animation2本 |
| Campaign | 月1〜3件 |
| Boosting | 40回。適用期間・数え方を確認 |
| 運用・報告 | 省のAds Manager、週1回以上協議、月次報告 |

### 資金繰りを先に計算

省からの入金前は自社資金で立替できることが条件。制作・運用費、媒体広告費、外貨決済費を分け、入金待ち期間を仮置きして必要資金を試算する。支払日・広告予算・保証条件は未確定。利益を見込める案件とはまだ断定できない。

### 続行・保留の判断

数量不一致、承認・検収、外貨支払、前払負担を文書で解消できれば提案作成へ。解消できなければ確定見積もりを保留する。Reach等の広告指標と予約・売上は別。受注、需要、観光客増加を保証する材料ではない。

Ministry · original pp.4–8 · editorial analysis · 28 Oct 2026 ↗

18 WEEKLY REVIEW

26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# 翌週の期限と、経過済み案件

2026**02 NOV**

MCDC

2026**19 NOV**

12:00 · MMT*

## MCDC：販売期間終了に注意

Kandawgyiの12室公共トイレLot 1。提出11月2日、時刻・資格は未確認。販売19〜28日、説明会28日は経過済み。追加購入や延長を推測せず、原公示と窓口確認が必要。

## 観光広告：時刻の確認も必要

提出11月19日正午、開札20日14:00。*ネピドー現地MMTとして整理したが原資料は時間帯未記載。販売終了日、数量6／9の不一致、立替と支払条件を文書で確認する。

MCDC ↗ · TENDER ↗

## 期限経過：JFのPC調達

15日公示、提出10月30日17:00（時間帯未記載）は経過済み。延長未確認のため応募可能とは表示しない。納品2027年1月31日、保証36か月。仕様・設定詳細は未取得。

JF ↗

19 WEEKLY REVIEW

26–30 OCT 2026 · WEEK 44

# カテゴリー索引と編集注記

01 政治・国際関係・安全 ↗ p.16
02 経済・金融・市場 ↗ p.5
03 法律・税務・規制 ↗ –
04 不動産・建設・都市開発 ↗ –
05 人材・雇用・教育 ↗ –
06 AI・IT・通信 ↗ p.17
07 エネルギー・資源・公益インフラ ↗ p.19
08 製造業・自動車・小売 ↗ –
09 貿易・物流・交通 ↗ –
10 農業・水産・食品 ↗ p.14
11 医療・保健 ↗ –
12 観光・ホテル・飲食 ↗ –

「—」は独立記事なし。新着がないという意味ではありません。

暮らし・安全 | 日本との関係 | 企業の動き | 気象・災害 | イベント・募集・締切

事実は出典の発表・報道に基づき、分析・仮定計算を分離した。現地取材、個別許可、入札窓口の運用、支援の実配布を独自検証していない。取得不能を新着なしと扱わず、裏付けが足りない案件は保留。12分類は掲載ノルマではない。相場の観測日と発行日を区別し、単位・条件・欠測を残した。